

コミュニティとの協働

基本方針

ファイントゥデイグループは、2023年3月に「社会貢献方針」を制定し、「美しさと豊かさ」「環境・自然」「次世代の支援」「地域の生活者支援」の4つの重点領域を中心に、継続的な活動を通じて社会インパクトの創出と企業価値の向上に取り組んでいます。

2024年12月のマテリアリティ改定においても、生活者をはじめとする各ステークホルダーとの共栄を引き続き重要な目標として掲げ、コミュニティとの協働をさらに推進していきます。

ファイントゥデイグループ 社会貢献方針

私たちは、「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにすること」というパーパスを掲げ、その実現に向けて活動しています。

社会貢献活動においても、常にパーパスについて考え、パーパスおよび各ブランドが掲げるブランドパーパス実現に貢献することを目的として、コミュニティを支援します。

重点領域

- 美しさと豊かさ
- 次世代の支援
- 環境・自然
- 地域の生活者支援

活動検討・実施判断の視点

- 重点領域の活動を通じて、パーパスまたはブランドパーパス実現に貢献する。
- 社員がバリューを実践する活動である。
- 社会インパクトと企業価値を両立する視点を持つ。
- NPO/NGOを含むさまざまなステークホルダーと協働し、それぞれの強みを生かす。
- 社員が持つスキルやノウハウの提供を含む、経営資源を有効に活用する。

推進体制

ファイントゥデイグループは、社会貢献方針の制定に伴い、その実行を担う「社会貢献ワーキンググループ(WG)」を発足しました。

また、社会貢献活動の推進に向けて、各海外拠点との意見交換の場を設け、今後の活動方針について対話を重ねています。更に、海外拠点における自発的な社会貢献の取り組みについては、全従業員が参加する「グローバル会議」で共有し、グループ全体での理解と連携を深めています。

Web サイト

社会貢献活動
<https://www.finetoday.com/jp/sustainability/social/stakeholders/>